

「山形県立図書館運営基本プラン 2025」に掲げる目標値の見直しについて

1 「3 つながり・広がる図書館 ～デジタル化と連携協働によるサービスの充実～」に係る目標値の見直しについて（図書館ホームページの延べ閲覧ページ数）

（1）現状

山形県立図書館運営基本プラン 2025 における行動指針「3 つながり・広がる図書館」の「インターネットによる情報発信の更なる強化」を評価する目標指標として、「図書館ホームページの延べ閲覧ページ数」が設定されている。

この閲覧数のデータについては、Google 社が提供するデータ分析ツール「Google アナリティクス」によってホームページのビュー数等のデータを収集しているが、「Google アナリティクス」の基本システム（バージョン）が「UA」から「GA4」へ移行（令和2年10月提供開始、令和5年7月1日完全移行）する際、分析方法に変更が加えられ、サイトのページビュー数については従前の数値と接続する数値の把握が不可能となった。（例：日をまたぐアクセスのカウント方法、異なる検索経路による連続したアクセスのカウント方法 等）

令和5年3月の図書館情報システム更新に伴い、ホームページも新たな基盤上に移行したが、移行前のホームページは「UA」によりページビュー数がカウントされていた。移行後のホームページで「GA4」に切り替え、ページビュー数を確認したところ、従来のページビュー数と大幅な乖離が生じており、システム保守業者の分析によってもその要因を明らかにできていない。

UAでのページビュー数月平均	約 122,900 ビュー（令和4年4月～令和5年1月の平均）
GA4でのページビュー数月平均	約 45,100 ビュー（令和5年5月～令和6年4月の平均）
低下率	6割超

（2）課題

上記のとおり、「Google アナリティクス」によるホームページの延べ閲覧ページ数については、分析システムのバージョンアップにより、従来の数値と比較した形での評価はできない。

（3）見直し（案）

インターネットによる情報発信の強化を図るうえで、指標となる数値の設定は必要と考えるが、「Google アナリティクス」による分析方法が従前のそれと比較できない状況にあるため、現計画では数値を設定せず、次期プランにおいて、インターネットによる情報発信の更なる強化を評価するための目標設定について、改めて検討していきたい。

2 「3 つながり・広がる図書館 ～デジタル化と連携協働によるサービスの充実～」に係る目標値の見直しについて（サポーターの延べ活動日数）

（1）現状

山形県立図書館運営基本プラン 2025 における行動指針「3 つながり・広がる図書館」の「県民や団体等との連携・協働によるサービスの充実」を評価する目標指標として、「サポーターの延べ活動日数」が想定されている。

「山形県立図書館運営協力サポーター制度」については、昨年度までは「山形県立図書館ボランティア活動」として運営していたところであるが（コロナ感染症対策のためしばらく休止していた）、今年7月より活動内容の拡充及び対象年齢の引き下げをしたうえで、新たにサポーター制度を制定したものの。

今年度の登録人数は20人（昨年度は13人）、主な活動としては、従来のボランティアでもお願いしていた定時で行っている「ブックサポーター（本の配架、書架整理など）」となり、その他に「イベントサポーター」「展示サポーター」の活動があるものの、これらの活動は不定期となることから、必要に応じてサポーターへ協力依頼を行っている。

（2）課題

プラン策定時には、サポーター制度については新たに創設するとされており、目標指標は「今後設定」するものとなっていた。今年7月にサポーター制度が制定されたことから、目標指標についても設定する必要がある。

（3）見直し（案）

コロナ感染症対策のため、近年の活動日数に係る数値は昨年度のもののみであるが、昨年度までのボランティア活動における登録者数と活動日数については、今年度創設したサポーター制度とは活動内容及び対象年齢が異なっているため、目標指標の設定に当たって比較対象とはしないものとする。

また、サポーター登録を行った者の活動実態としては、個々人の事情により月1回から5回程度と幅があること、サポーター制度の目的の一つとしては図書館を応援・支援してくれるファンを増やすことということを考えると、目標とする指標は登録者数を設定することが適当と思われる。

したがって、令和6年度の目標指標は既登録者数の20人とし、令和7年度の目標指標は10%増の22人とする（来館者数の伸び率相当）。

以 上